

学年	中学1年	教科	家庭科	科目	技術・家庭	単位数	2
教科書名		技術・家庭 家庭科（開隆堂）		副教材名	なし		
コース・クラス		中高一貫					

I. 目標

生活に必要な知識・技術の習得を通して、進んで生活をよりよくする能力と実践的な態度を育てる。

II. 授業のねらい

家族・家庭、衣服、食などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得する。

学習した知識や技術を生かして、生活課題を主体的に解決する態度と実践的に生活を充実させようとする態度を育成する。

III. 授業の進め方

- (1) 教科書を中心に授業を展開し、プリントを使用して知識の定着を図る。
- (2) 適宜実習を行い、実践的・体験的な授業を展開する。

IV. 学習上の留意点

- (1) 教科書、授業プリントを必ず用意して授業に臨むこと。
- (2) 普段の生活と関連づけて考えること。
- (3) 提出物の期限は必ず守ること。

V. 定期試験

- (1) 教科書と授業プリントの内容に基づいて出題する。
- (2) 定期試験の範囲（予定）
 - 1学期 期末試験 : 「被服製作・衣服」について。
 - 2学期 期末試験 : 「調理・衣服・幼児」について
 - 3学期 学年末試験 : 「食生活」について

VI. 評価の方法

定期試験、小テスト、提出物の提出状況と内容、授業の取り組み方などで総合的に評価する。

VII. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	被服製作	定期試験 作品 提出物 意欲・態度	・基本の手縫い、及びミシンの使い方を習得する。
	5			
	6			
	7	衣服を着る目的		・衣服の社会生活上のはたらきがわかる。
一学期	9	テーブルマナー	定期試験 実技テスト 提出物 意欲・態度	・箸の使い方などのマナーを理解し、習得する。
	10	目的に応じた衣服の選択		・自分らしい着方を工夫することができる。 和服の文化に関心をもち、和服と洋服の違いを理解する 既製服を選ぶポイントがわかる。
		日常着の手入れと保管		・衣服の状況に応じた手入れの必要性がわかり、適切な 手入れができる。 取り扱い表示の意味を理解し、衣服の素材に適した手入 れの方法を選択できる。 衣服の素材に合った洗剤を選び、適切な量を使用できる
	11	持続可能な衣生活		・資源や環境に配慮した衣生活をおくるために工夫で きることを考える。
12	自分の成長 幼児の生活	・自分の成長について調査する。 ・幼児の体と心の発達の特徴を理解する。		
	調理実習	・安全や衛生に注意し、調理の基本を習得する。		
三学期	1	食事の役割と食習慣	定期試験 小テスト 提出物 意欲・態度	・食事の役割について理解し、食生活に関心をもつ。 ・規則正しい食事をとることの重要性を理解する。
	2	中学生に必要な栄養を満たす食 事		・中学生に必要な栄養の特徴がわかる。 ・食品は、栄養的特質により、食品群に分類されること を理解する。
	3	調理実習		・安全や衛生に注意し、調理の基本を習得する。

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。